



〈公開〉生と死とその後

死生学研究

2011 年度のテーマを引き継いで 2012 年度には「生と死とその後Ⅱ」として公開講座・シンポジウムを企画いたしました。東日本大震災後の死生学の新たなあり方を皆さんと一緒に模索してまいります。どうぞご自由にご参加ください。

2012 年 4 月
東洋英和女学院大学死生学研究所所長
渡辺和子

- 会場 東洋英和女学院大学大学院 201 教室
六本木駅（日比谷線徒歩 10 分）麻布十番駅（大江戸線徒歩 5 分、南北線徒歩 7 分）
- 参加費 連続講座各回 500 円・シンポジウム各回 1,000 円（本学院在校生・教職員は全回無料）
- 事前申込不要 □当日先着順 100 名様
- 問合せ先 東洋英和女学院大学死生学研究所 〒106-8507 東京都港区六本木 5-14-40
03-3583-4035 (Fax 専用) shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

日程（土曜日）30分前から受付開始		発表者	所属	題目		
2012 年 4 月 21 日	14:40～ 16:10	第 1 回 連続講座	村上陽一郎	本学学長	死の二つの側面	
	16:20～ 17:50	第 2 回 連続講座	西 洋子	本学人間科学部教授	カラダ・モノ・モノ語り—表現するミュージアム	
6 月 2 日	14:40～ 16:10	第 3 回 連続講座	渡辺和子	本学人間科学部教授	『ギルガメシュ叙事詩』と洪水神話	
	16:20～ 17:50	第 4 回 連続講座	佐藤弘夫	東北大学大学院文学 研究科教授	江戸時代の幽霊にみる死生観	
6 月 30 日	14:40～ 16:10	第 5 回 連続講座	前川美行	本学人間科学部准教授	子どもと守り—映画『禁じられた遊び』から	
	16:20～ 17:50	第 6 回 連続講座	島 蘭 進	東京大学大学院人文社 会系研究科教授	日本人の死生観をふり返る	
7 月 28 日	14:40～ 17:50	シン ポ ジ ウ ム	奥野滋子	順天堂大学医学部先任 准教授	<緩和医療から> 強要しないスピリチュアルケア	「テーマ 「スピリチュアルケ アを考える」
			佐藤啓介	聖学院大学人文学部准 教授	<宗教哲学から> スピリチュアルケア における幸福な記憶、幸福な忘却	
			鶴岡賀雄	東京大学大学院人文社 会系研究科教授	<宗教史から> スピリチュアルケアと してのターミナルケア	
10 月 20 日	14:40～ 17:50	共催「生と死」研究 会 第 11 回例会 シン ポ ジ ウ ム	前川美行	本学人間科学部准教授	こころを守り、育てること—安心とは	「テーマ 「震災と子ども」
			朝岡 勝	日本同盟基督教団徳丸町 キリスト教会牧師	いと小さき者への奉仕 —子どもと地震・津波・原発被災	
			木崎馨雄	老人ホーム自生園総施設長・ 高野山真言宗那谷寺副住職	子ども達に救われた震災支援	
12 月 8 日	14:40～ 16:10	第 7 回 連続講座	山本真実	本学人間科学部准教授	被虐待児と環境—養護原理の視点から	
	16:20～ 17:50	第 8 回 連続講座	石渡和実	本学人間科学部教授	障害がある命と優生思想	
2013 年 1 月 19 日	14:40～ 16:10	第 9 回 連続講座	古川のり子	本学国際社会学部教授	姥皮の少女とタニシ息子の物語 —『ハウルの動く城』	
	16:20～ 17:50	第 10 回 連続講座	奥山礼子	本学国際社会学部教授	ヴァージニア・ウルフの死生観 —人生と作品から	
2 月 16 日	14:40～ 16:10	第 11 回 連続講座	棚次正和	京都府立医科大学大学院 医学研究科教授	現界と他界のあい	
	16:20～ 17:50	第 12 回 連続講座	福田 周	本学人間科学部教授	鯨絵にみる震災体験のイメージ化過程	